

## 第1回西脇市特別職報酬等審議会 会議録要点

1 開 会 略

2 市長あいさつ 略

3 委嘱状の交付 略

4 委員自己紹介 略

5 会長・副会長の選出について

○経営者代表として齋藤委員が適任と考える。

(異議なしの声)

※会長は齋藤太紀雄委員に決定

※副会長は会長の指名で齋藤周藏委員に決定

6 諮 問

西脇市特別職報酬等の額について

7 審 議

<会議の公開・非公開について>

○自治基本条例の観点もあるが、特別職個人の仕事の質や量について議論する部分もあるため、公開することにより率直な意見が出にくい。また、情報公開の観点から会議録のみを公開する。

○県内や類似団体の状況を考慮し、2年前と同様に会議は非公開、会議録(要点)は、公開(発言者は非公開)として取り扱うこととする。

(異議なしの声)

<市長、副市長、教育長の給料について>

※事務局から県内の状況及び類似団体の状況を説明

○現在の減額している理由は何か。

⇒前回の審議会では現状維持の答申を出した。しかし地域情勢の変化が少ないことから引き続き5%の自主減額をしている。

○市長の勤務形態は。

⇒公務のある日は勤務日となる。土曜日や日曜日等の休日でも行事等があるため勤務されている。

○労働の対価だけでなく、例えばボランティア団体等は、みんなで支えあい、お互いを認め合いながら活動しているが、そういうところを評価する姿勢も考慮すべきである。

○市長の機密費はあるのか。

⇒市長交際費はある。

○給料月額だけ見ると高い気はするが、365日働いていることを考慮すると妥当、若しくは少し安い気がする。

○市長は市の顔である。

○給料が安すぎると良い候補者が出てこない。

○選挙公約で減額する場合もあるが、審議会の意見を尊重した月額が望ましい。

○ファッション都市構想など地場産業の活性化のために注力されている。

○市が活性化すれば、給料を上げてても構わないと思う。

○市長としてがんばった分は給料に反映させれば良い。

○大阪市のように独自で下げることもあり得るのか。

⇒あり得るが、審議会の意義がなくなる。

<議長、副議長、議員の報酬について>

※事務局から県内の状況及び類似団体の状況を説明

○議員の減額状況は。

⇒現在はしていない。

○報酬が低すぎると良い立候補者が出てこない。

○議員の平均年齢は。

⇒61歳ほど。

○議員の出席回数は。

⇒平成26年度実績では、議長で220回程度、副議長・議員で150回程度

○もっと若い人が立候補するようにならないといけない。

○報酬の高い低いではなく、活躍していれば多少高くても高くないと感じる。

○無投票はだめ。

○政務活動費はあるのか。

⇒年間44,500円。県内でも低い額である。

◆本日の審議会での意見を参考にいただき、委員各位の意見を取りまとめ、次回審議会で決定していきたい。

< 次回の開催日時について >

○平成28年1月13日（水） 午後7時00分から  
西脇市役所 応接室

委員の署名 (会 長)

齋藤太紀雄

(副会長)

齋藤 同 副

# 平成27年度 第1回西脇市特別職報酬等審議会次第

と き 平成27年12月21日（月）19時～

ところ 西脇市役所 2階 応接室

- 1 開 会
- 2 市長あいさつ
- 3 委嘱状の交付
- 4 委員自己紹介
- 5 会長・副会長の選出について
- 6 諮 問  
西脇市特別職報酬等の額について
- 7 審 議
  - (1) 市長、副市長、教育長の給料額について
  - (2) 議長、副議長、議員の報酬について
- 8 その他  
次回の開催について
- 9 閉 会

【委員出席者名簿】

(敬称略)

番号	氏名	選出区分	出欠	備考
1	齋藤 太紀雄	経営者代表	出席	会長
2	東田 万智子	経営者代表	出席	
3	笹倉 照暉	経営者代表	出席	
4	寄藤 弘樹	経営者代表	出席	
5	南畝 大作	労働者代表	出席	
6	浅野 良一	学識経験者	出席	
7	齋藤 周藏	住民代表	出席	副会長
8	川口 美恵子	公募	出席	
9	武部 千栄	公募	出席	

【事務局等】

氏名	職名
藤原 良規	総務部長兼総務課長
筒井 研策	財政課長
小谷 真理子	総務課人事担当主査
村上 陽一	総務課人事担当主査